※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3016

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	工業化学基礎	単位数	１単位	年次	全学年
使用教科書	使用しない						
副教材等	丙種危険物取扱者受験教科書　（向学院）、自作プリントなど						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、身近な工業化学について特性を知り、安全に取り扱う方法を知るためにある。私たちの身近には多くの化学物質が存在する。これらは、私たちの生活に欠かすことのできないものであるが、取り扱い方を間違えれば大きな事故を招きかねない。この授業では、化学物質のなかでも、主に消防法令で危険物と定められている物品に関係する内容を中心に学んでいく。授業内容の理解を助けるため、必要に応じて小中学校で学ぶ物理・化学に関する学習内容も復習する。

２　学習の到達目標

(1)　工業化学の基礎を学ぶために必要な、小中学校までの物理・化学に関する学習内容を復習し身に付ける
(2)　消防法令に定められている危険物を、法令に基づいて適切・適当に取り扱うことができるようになる
(3)　ガソリンなど主要な危険物を、安全に取り扱うことのできる知識・技術を身に付ける

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会で用いられている工業化学を振り返り、身近な化学薬品の特性を知ることができる。	工業化学薬品を適切・適当に利用する知識を身につけることができる。	化学製品の利便性と危険性の両方を鑑みて、生活をより豊かなものにすることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	小中学校学習内容の復習	小中学校で学ぶ物理・化学に関する学習内容の復習	a:基本的な物理・化学に関する学習内容を復習し身に付けている b:復習内容が、安全な危険物取り扱いとどのように関係しているか思考・判断し表現できる c:復習内容を安全な危険物取り扱いに生かすために、主体的に学習に取り組む	プリント記入	プリント論述	プリント感想記入授業態度
	危険物取り扱いに関する基礎的な物理学及び基礎的な化学		a:小中学校復習内容を踏まえ、危険物取り扱いに関する物理・化学の基礎基本を習得する b: 危険物取り扱いに関する物理・化学の知識・技術が、安全な危険物取り扱いとどのように関係しているか思考・判断し表現できる c: 危険物取り扱いに関する物理・化学の知識・技術を、安全な危険物取り扱いに生かすために、主体的に学習に取り組む	プリント記入	プリント論述	プリント感想記入授業態度
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法		a:これまでの学習内容を踏まえ、危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法について習得する b: 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法が、安全な危険物取り扱いそのものであることを思考・判断し表現できる c: 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法を、安全な危険物取り扱いに生かすために、主体的に学習に取り組む	プリント記入	プリント論述	プリント感想記入授業態度

※令和４年度以降入学生用

後期	危険物に関する法令		a: これまでの学習内容を踏まえ、危険物に関する法令の内容について習得する b: 危険物に関する法令が、安全な危険物取り扱いに必要なものであることを思考・判断し表現できる c: 危険物に関する法令の内容を、安全な危険物取り扱いに生かすために、主体的に学習に取り組む	プリント記入	プリント論述	プリント感想記入授業態度
	工業化学に関する実験実習		a: これまでの学習内容を踏まえ、工業化学に関する実験実習に取り組む b: 実験実習の内容が、安全な危険物取り扱いに深く関係していることを思考・判断し表現できる c:実験実習の内容を、安全な危険物取り扱いに生かすために、主体的に学習に取り組む	実験実習への参加プリント記入	実験実習内容に関係する論述	プリント感想記入授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度